



平成 26 年 8 月 18 日

# 絆 kizuna

第 17 号

特定非営利活動法人 ともに浜をつくる会  
〒232-0053 横浜市南区井土ヶ谷下町 18  
TEL:045-743-1172 FAX:045-731-9859  
理事長 石田 猛

## 夢 希望 & ロマン

2006年(平成18年11月1日)「とも浜便り」創刊を祝してお喜びのご挨拶申し上げた言葉の一つです。依頼住み良い豊かな横浜を目指して今日まで会員 市民を初め各界各位の皆様と共に様々な事業、活動、行事を行って参りました。特色あるものとしては下記の通りです。

- ① 各種大会への出席 & 現地集会、行事への参加、協力、活動
  - ② とも浜便り、「きずな」絆 20 次に渡る 会報の発刊
  - ③ 東京漁港巡りを初めとする 数次の 浜辺視察ツアー
  - ④ 市民 1万数千名 署名による浜辺造りの促進活動
  - ⑤ 横浜国際フェスタ 毎年次数万人参加の祭展、出展、参加
  - ⑥ 「とも浜プラン150」 海岸線アクセスマップの創作・促進
  - ⑦ 海苔づくり、ワカメ育成、すだてツアー等の 体験学習
  - ⑧ 気仙沼市大島の漁業、島民の復興再生を願っての当会を通じての三井物産の助成と合せての会員、市民、企業 協力による、数千万円の金品 支援事業活動
  - ⑨ 被災民に希望と勇気をもたらす、鯉のぼり250匹の贈呈・気仙沼市立大島小学校他
  - ⑩ 関東学院との協働による気仙沼市、学童タグラクビー大会へ招待&現地大会への参加、協力、活動
  - ⑪ 東北被災地の漁業、農業&横浜地域の活性化を図るための、とも浜協力会への支援
  - ⑫ 上記の他、他企業・団体・NPO・市内小中学校などとの協働事業
- 以上が、NPO とも浜 発足以来、今日迄の事業活動の概要です。  
ありがとうございました。



鯉のぼり 気仙沼市立大島小学校

### のりづくり体験学習



### 気仙沼市大島復興支援・養殖筏視察



## お知らせ

## NPO 法人ともに浜をつくる会

皆さん今日は 皆様の日頃よりの当協会の行事、活動についての深いご理解と温かい ご協力で心よりお礼申し上げます。

さて今回は当協会の「平成26年度の事業活動の概要」について、お知らせ申し上げます。皆さん当会本年の事業活動も、4月以来、早や5ヶ月を迎えましたが、当月迄の活動状況は次の通りですので、ご報告を致します。

### 平成 26 年

1. 4月15日～17日 気仙沼市大島漁業の復興再生状況視察&同島 水産物の販路開発  
(宮城県東北地方の漁業復興支援&物産の販路拡大等についての活動)
2. 5月27日(火) 第8期 NPO 法人ともに浜をつくる会定時総会開催  
(平成25年度事業と予算 承認 平成26年度事業計画、予算報告 承認)～原案通り決定)  
懇親会開催 (横浜南部市場内 浜小屋にて)
3. 6月18日(水) 浜づくり、自動車視察、横浜市港湾局&MM21 地区再生協議会と面談  
(横浜市港湾局が企画、実施予定に即応し臨海部 浜づくりへ強調、促進、懇談)
4. 7月11日～13日 大島筏(いかだ)造り、気仙沼市学童、市民タグラクビー大会参加支援
5. 8月21日(木) 理事会、自動車視察、会員懇親会をかねての屋形船での集会、実施予定

次に平成26年9月以降の活動計画については、前年度と異なり、可成と具体的に皆さんに参加のできる楽しい イベントを予定しています。

6. 平成26年9月初旬～中旬、 海苔の種付けの見学会実習 於 金沢漁協  
どうして海苔が出来るのか！
7. 10月18日(土)～19日(日) 横浜国際フェスタ 於 象の鼻公園  
様々な世界の物品、食品等が盛りだくさんあります

上記の他 H26年9月からは、下記の様な行事活動を予定しています

### 浜辺づくり活動 横浜市企画実施による事業への協力協働

- ◆ ワカメの種付けより収穫まで ----- (海での養殖)
  - ◆ 生のりより乾上がりまでの作業 ----- (伝統食、材造り)
  - ◆ 和船の口こぎ体験 横浜市民他 ----- (浜の文化祭)
  - ◆ 鯉のぼりの収集と展示 於 MM21その他 ----- (伝統の継承)
  - ◆ 写真展の開催 参加 於 情報文化センター ----- (横浜の今昔)
  - ◆ 会員 市民の交流活動 イベント、セミナー ----- (浜辺巡りツアー)
  - ◆ 電動トレインの設置運営(案) MM21 ----- (子供中心の行事)
- 以上が本年度のプランです。皆さん方 多数のご参加ご協力を期待しております。